

と共に就学率向上に務めなければならない。

●「ますます恵まれぬ年少労働」

緊縮予算の金融引締政策に依つて中小企業は、不況に陥り、そこに従事する年少労働者の労働条件、就職条件は低下し、これは低賃金の雇用として現われ、高校生より中学生が喜ばれる傾向ともなつてゐる。就業年少労働者数も二八年度五四六万二九五四〇万と減少してゐる。又近江絹糸の人権ストに依りクローズアップされた労働基準法違反は未組織の間屋街、家内工業等に多く見られる。一方基準監督署では無許可の年少労働者の使用禁止に努力してゐる。

●「兇悪・集団化する少年犯罪」

青少年犯罪に於ける全国の犯罪者総数は二七年度二〇七二、二〇九、二八年度一、〇九、九五一で今年度上半期は六、三二八、前年度の六、二四三とほぼ同程度である。しかし注目されるのは、兇悪化・常習化・集団化の傾向をたどりつつある事で、是等は街に氾濫する不良文化財の影響、ヒロポン禍・兇器増出・生活環境が大きな原因をなしてゐる。対策として、関係諸官庁と共に、ヒロポン問題を中心として一般の関心が強められ、特に家庭環境の改善が指摘されてゐる。

◎一九五四年度専門学科学目

(専門必修)

(必修選択)

社会福祉事業概論	四単位	都市農村社会学	四単位
社会事業史	一	職業指導・補導	四
施設見学	一	社会福祉事業施設経営管理論	二
社会問題	四	社会思想史	四
社会立法	二	社会福祉事業行政	二
児童福祉	四		
家族論	二		
社会福祉学演習 (I)	二		
ケイスワーク	二	精神衛生	四
グループワーク	二	公衆衛生	四
社会調査・統計	四	社会心理	二
現場実習	四	新聞学	二
卒業論文	四		

(関連)